

こんばんは (2003)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 92分

初公開日 2004/09/11

公開情報 「こんばんは」上映事務局

【キャッチコピー】

ここに

本当の教育の姿がある――。

【解説】

夜間中学で行なわれている授業に密着した長編ドキュメンタリー。「渡り川」の森康行監督が、夜間中学で学ぶ生徒たちの姿をカメラに収め、教育のあり方を改めて見つめ直す。夜間中学に学び、卒業した人たちと共に製作され、撮影前に1年近くも教室に同席して生徒や教師との交流を通じて、理解と支持を得て初めてカメラが教室に持ち込まれた。

戦後まもなく、昼間の学校に通えない子どもたちのために開設された夜間中学。現在では様々な理由で教育を受けられなかった人々が、年齢や国籍を問わず学べる場となっていた。ここ東京都墨田区立文花中学校の夜間学級でも、17歳から92歳まで、8ヵ国80名の生徒が学んでいる。中学を不登校になった少年もいれば、日本語も十分に話せない外国人もいる。カメラはそんな夜間中学に通う生徒たちが互いに助け合いながら勉学に励む様子を静かに優しく見つめ、彼らが真摯に学ぶ姿を通して、教育の意味とその本来のあるべき姿を問い直していく。

【クレジット】

監督	森康行
製作	中橋真紀人
構成	古賀美岐
撮影	川越道彦
編集	古賀陽一
音楽監督	小六禮次郎
ナレーション	倍賞千恵子